



2019年9月28日

担当：小野澤健 (教頭)

## 第51回 茜祭

### Present ~贈ろう 一中から 愛を込めて~

9月27日(金)、28日(土)の二日間、夏休み前から準備を進めてきた第51回茜祭を、たくさんのご来賓の方々、保護者や地域の皆様にご来校いただき盛大に開催することができました。ありがとうございました。

普段の学習や学校生活の様子、総合的な学習の時間(ふるさとタイム)の取組、クラス対抗・縦割りグループによる茜スポーツフェスティバル、そして心をついに合わせて歌った音楽会…。

どの発表にも一中生の日々の頑張りやお互いを思う温かな『愛』が込められていました。中心になって進めてくれた3学年生徒会役員の皆さん、それに応え協力する1・2年生。まさに、全校で創り上げた茜祭。今年のテーマ「Present ~贈ろう 一中から 愛を込めて~」にふさわしいものとなりました。

茜祭では、学びの成果の様々な発表が行われました。その中で、一中生の表現力のすごさに感動させられました。言葉での表現、体を使った表現、表現の形には色々ありますが、日々の授業や生活で身に付けた表現力を存分に発揮したよい発表ばかりでした。特に、各クラスや全校合唱の「大地讃頌」では、聞いている人の心に響く素敵な歌声となって、すばらしい『愛』のプレゼントを贈ることができました。

#### 茜祭の様子

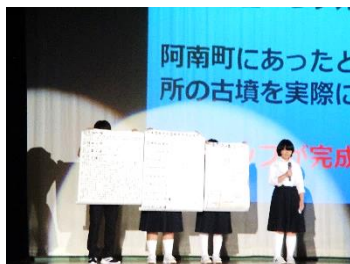
##### <開祭式>



##### <意見文発表>



##### <ふるさとタイム>



### <茜ステージ>



### <学級展示>



### <ASF>



### <音楽会>



## 教育課程研究協議会（人権教育）

9月5日（木）に中学校教育課程研究協議会（人権教育）が本校で行われました。授業は、2学年で、グラフの表し方をペアの友達と説明し合い、一次関数の式をグラフに表す数学の学習でした。自分とは異なった友の話をよく聞き、友の考えに学ぼうとする姿、グラフの表し方が分からない友に丁寧に教える姿、教えてもらったことに感謝し、「ありがとう」の言葉を友に伝えられる姿など、変域のある一次関数のグラフのかき方を友との協働学習を通して、主体的、対話的に学んでいく様子が見られました。



本校の本年度の重点目標は『つながり合う学校 挨拶・感謝・勇気』です。その具現を目指し、人権教育を視点に据えた授業、生徒指導・学級経営、行事等の計画・実行が、学力の向上、安心安全な学校・不登校の未然防止、生徒の良さの伸長・思いやりの心の育成につながると考え、すべての教育活動の基盤となる人権教育を大事にして取り組んでいます。

2年1組の生徒と担任の清水先生の数学の授業は、本校の目指す姿への貴重な実践となりました。

最後に、一時間のためだけに雨の中を登校して、一生懸命授業に取り組んでくれた2年1組の生徒の皆さん、ありがとうございました。

